

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果の概要について

井原市教育委員会学校教育課

## 1 実施の概要

### (1) 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 実施日 令和4年4月19日(火)

### (3) 参加状況 市内13小学校6年生274人 5中学校3年生236人

- ### (4) 調査内容
- ①教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)
  - ②生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査

## 2 井原市の学力調査の状況 (平均正答率%)

|      | 小学校6年生 |      |      | 中学校3年生 |      |      |
|------|--------|------|------|--------|------|------|
|      | 国語     | 算数   | 理科   | 国語     | 数学   | 理科   |
| 井原市  | 65     | 62   | 62   | 70     | 50   | 51   |
| 岡山県  | 67     | 62   | 64   | 69     | 51   | 49   |
| 全国   | 65.6   | 63.2 | 63.3 | 69.0   | 51.4 | 49.3 |
| 県比較  | △2.0   | 0    | △2.0 | 1.0    | △1.0 | 2.0  |
| 全国比較 | △0.6   | △1.2 | △1.3 | 1.0    | △1.4 | 1.7  |

無回答率(井原市/全国)【小:国5.4/5.7、数4.3/3.5、理4.1/3.6 中:国3.1/4.3、数9.3/10.8、理3.3/3.4】

## 3 教科・領域別にみた調査結果概要 (全国平均正答率との比較%)

|    | 話す・聞く | 書く  | 読む   | 言葉 ※ | 数と計算<br>数と式 | 図形   | 変化と関係<br>関数 | データの活用 |
|----|-------|-----|------|------|-------------|------|-------------|--------|
| 小国 | △0.7  | 0.6 | △4.9 | 0.5  | △4.8        | 1.0  | △0.1        | △1.1   |
| 中国 | △0.2  | 8.6 | △2.9 | 1.1  | 0.7         | △1.7 | △4.3        | △0.7   |

※「言葉の特徴や使い方に関する事項」

|    | エネルギー | 粒子   | 生命   | 地球   |
|----|-------|------|------|------|
| 小理 | △0.2  | △3.6 | 0.4  | △1.7 |
| 中理 | △0.4  | 1.1  | △0.3 | 3.5  |

#### 4 質問紙調査結果 ※岡山県教育委員会の指定する重点項目（肯定率％）

| 質問項目   | 児童   |      |      | 生徒   |      |      |
|--|------|------|------|------|------|------|
|  | 井原市  | 岡山県  | 全国   | 井原市  | 岡山県  | 全国   |
| 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。（主体的な学び）                  | 77.0 | 76.1 | 77.3 | 81.1 | 78.9 | 79.2 |
| 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。（対話的で深い学び） | 78.5 | 80.8 | 80.1 | 84.1 | 79.8 | 78.7 |
| 国語の授業の内容はよく分かる。（理解度）                                       | 83.9 | 83.3 | 84.0 | 82.2 | 81.8 | 81.2 |
| 算数・数学の授業の内容はよく分かる。（理解度）                                    | 79.9 | 80.1 | 81.2 | 83.4 | 77.5 | 76.2 |
| 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習1h以上）      | 68.6 | 67.1 | 59.4 | 70.4 | 64.9 | 69.5 |
| 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学習計画）                                 | 77.0 | 71.9 | 71.1 | 64.4 | 58.1 | 58.5 |
| 将来の夢や目標を持っている。（夢・目標）<br>（県の資料は「当てはまる」の割合）                  | 74.9 | 80.9 | 79.3 | 69.3 | 69.2 | 67.3 |
| 自分にはよいところがあると思う。（自己肯定感）                                    | 74.9 | 80.9 | 79.3 | 78.4 | 81.1 | 78.5 |

#### 5 考察

△国語の「読む」の領域については、小学校・中学校ともに2ポイント以上全国平均を下回っている。また、算数・数学では小学校中学校ともに4ポイント以上全国平均を下回る領域がある。引き続き基礎基本の確実な定着が求められる。

△自己肯定感については、小学校・中学校ともに全国値を下回っている。子ども自身が自分の良さを感じることでできる場面の設定を意図的に行う必要がある。

○学習1h以上については、小学校・中学校ともに全国値を上回った。中学校は例年全国値を下回っていたが、学習習慣が定着しつつあることが伺える。

#### 6 今後の対応

- (1) 学習指導要領の主旨に則り、主体的・対話的で深い学びの実現が図られ、基礎基本の確実な定着を目指した「わかる・できる」のある授業改善を行う。また、ICTを活用した個別最適化された学びを実現し、指導力及び授業力の向上への取組の充実を図る。
- (2) 児童生徒が自分で決めたことをやり遂げられるような学習活動を設定し、自己の変容を実感できるよう振り返りを充実させることにより、児童生徒の自己肯定感を高め、主体的に学ぶ力を育成する。
- (3) 学びの基盤である落ち着いた学級集団及び学校づくりの促進を図る。
- (4) 学校と家庭、地域が協働し、質と量のバランスがとれた家庭学習並びに授業時間以外での

補充学習の充実を図る。

- (5) 各中学校区で設定している『中学校区スタンダード』をもとに、保幼小中高及び学校・家庭・地域が連携し、共通理解を深めつつ、発達段階に応じた生活習慣や学習習慣の改善・定着に向けた意図的かつ系統的な指導を行う。